

わごころ通信

発行日：令和2年3月1日
発行元：尾鷲市社会福祉協議会
栄町5-5 TEL.22-3246
<http://www.owasewel.com>
info@owasewel.com

「わごころ通信」では、ささえ合い活動が、これからも続いていく、また、広まっていくように、尾鷲で活動している方の情報発信をしています。第2号では、地域ささえ合い推進員がお邪魔して、尾鷲市梶賀町、中村町で活動している団体をそれぞれ取材してきました！

★梶賀町に根づく“ひまわり”の輪★

梶賀町でささえ合い活動を行っているのは、梶賀地区福祉委員会の皆さんです。会の愛称は『ひまわり』といいます。『ひまわり』は、平成10年に発足し、少しでも多くのふれあいの場を持ち、見守り支え合えたらという思いで、現在も『ふれあいサロン』や『ふれあい訪問』の活動をしています。

★『ふれあいサロン』の様子

地域の集いの場である『ふれあいサロン』では、認知症の正しい理解を深める勉強会をしたり、気軽に寄っておしゃべりやお茶を楽しんだりもしています。

12月には、“クリスマス会”をひらき、『ひまわり』の皆さんと梶賀町の子ども達とでケーキを作りました。地域の高齢者の方も

一緒にテーブルを囲み、「この子は『名付け』の時、布団にまかれとった子やな、おっきなったね～」となつかしい話に花を咲かせながら、おいしくいただきました。

『ひまわり』の皆さんは、「サロンの中で特別な催しをしなくても、地域の人と交流できる場」を作ろうとしています。こうしたサロン活動を通して、困り事を一人で抱え込まず、気軽に相談できる地域にしたいと考えています。



手作りケーキ
出来上がり！
おいしそう～

若い子の
飾りつけは
違うねえ～

生クリームとフルーツ
の飾りつけ♪



みんなで一緒におしゃべり
カフェタイム





★お弁当と“見守り”をお届け★

中村町でささえ合い活動を行っている中村町地区福祉委員会のみなさんです♪

中村町では、地域の少子高齢化や核家族化がすすみ、ひとり暮らしや高齢化のみの世帯が増える中、「地域で支え合う活動をしよう！」と当時の民生委員や有志のボランティアが集まり、平成8年1月に中村町地区福祉委員会を結成しました。現在は「わがらの町はわがらで支え合おう！」をモットーに、30名の会員で活動しています。地域の高齢者の見守りを目的とした、年4回の『ふれあい訪問』活動や、市内の福祉施設の行事に参加しています。



～中村町地区福祉委員会のみなさん～

★ふれあい訪問の様子

福祉委員会手作りのお弁当を手に携え、「元気かな？変わりはないですか？」と声をかけながら、地域の高齢者1件1件を訪問してまわります。この地道な活動のおかげで、顔の見える横のつながりが強くなり、お互い気にかけてあえる地域になっています。互いに気にかけてあうことで、『どこに』『だれが』いることがわかり、災害時にも強い地域になっていきます。



委員のつぶやき

「この活動がきっかけで、ご近所さんで知らない方ともお話するようになりました。みんなとコミュニケーション取りながら楽しくやっとなるよ～」

★今年度1年のふりかえり★

今年も各地域の取り組みを見学させて頂きながら、市内全域に向けて研修や講演会などを企画してきました。

9月には、NPO法人全国コミュニティライフサポートセンターの酒井保先生をお呼びして、『健康寿命を延ばす秘訣！講演会』と題して、地域のささえ合い活動のヒントについて講演会を開催致しました。52名の方に参加していただく中、酒井先生の軽快なジョークもあり、笑いの絶えない素敵な時間となりました。参加者の皆様からも、『面白くてわかりやすい、良い講演会だった』と大好評でした。

こうした取り組みを継続しながら、令和2年度も、地域の皆さんの声や、各地域で萌芽しつつある新たな活動を大切に、社協として『形にしていく』ことに注力していく1年にしたいと思います。新年度も、地域ささえ合い推進員の2人が、あなたの町にお邪魔するかもしれません。その時は、何卒よろしく願いいたします。

『健康寿命を延ばす秘訣！』
講演会の一幕。
おもしろく、わかりやすい
お話でした

